



赤松学舎 世田谷区立松沢小学校

# 学校だより 5月号

令和7年4月28日(月)

世田谷区立松沢小学校 校長 寺崎 晶子  
URL <http://school.setagaya.ed.jp/mawa/>



## 涙の向こうに

副校長 増田 美和

入学した1年生も少しずつ学校に慣れてきました。朝の様子を見てみると、自分を学校まで送ってくれたお父さんやお母さんと離れるタイミングで涙を流す子供たちがいます。ひとしきり涙を流した子供たちは、教室に入ると案外スッキリした表情で楽しく過ごすことが多いです。

子供たちが流す涙にもいろいろありますが、例えば友達とけんかして悔しくて涙を流す時もあります。同じ場面でも悲しくて涙がこぼれることもあります。または、つらい時、ほっとした時、全く違う場面では、感動した時、嬉しい時にも涙は流れます。

涙を流す理由は、その時々で全く違いますが、その涙する状況を乗り越えた時、本人の成長があると感じることが学校の中で多々あります。涙を流す状況を受け入れ、分析し、次に自分は何をするべきか、どうしたら良い方向に進むのか、時には誰かを頼ったり、時には気持ちを切り替えて別の方法を試したり、考えて行動したときに、人は成長すると思うのです。

けんかで涙を流した子が相手と気持ちを伝え合い、分かり合えた時。ゲームに負けて悔し涙を流した子が次の対策を考えて準備をし、次のゲームで勝てた時。問題が解けなくて泣いていた子が、その問題の解き方が分かって自分でできるようになった時。そんな時に子供たちはとてもいい表情をします。それは成長の瞬間に見られる表情です。

本校の掲げる「みんなで楽しく、みんなが楽しく」にも、根底には、自分で考えて行動する力が求められます。どうしたらみんなの力で楽しい活動ができるのか、どうしたらみんなが楽しくなるのか。自ら考え、より良い方向に行動できる子供に育ててほしいと願っています。

これから、子供たちは様々な困難と出会い、時には涙を流すこともあるかもしれません。けれども、涙の後に子供たち一人一人が、自分でできることは何かを考え、困難を乗り越えていく姿を目にした時、我々大人は子供の成長を感じることができるでしょう。私たちも、子供たちのために何を伝え、どんな支え方をし、本人の成長をどうやって促すのか、考えて行動していきたいと思います。

今年度のPTAのテーマは「All for children～一緒に広げよう子どもの笑顔～」です。松沢小学校に関わるすべての大人が手を取り合って、困難を乗り越えようとする子供たちを支えていきましょう。きっと、子供たちの成長の瞬間の笑顔を目にすることができると思います。

| 「人格の完成をめざして」5月のテーマ              | 生活目標                                                                                       |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 思いやり<br>相手の気持ちを大切にしながら行動していますか。 | 思いやりのある言動をとろう。<br>・ 友達のよい所を見つけ、がんばりを認めよう。<br>・ 思いやりのある言葉遣いをしよう。<br>・ 廊下や階段は広がらず、静かに右側を歩こう。 |